



第 32 号
2010 年 3 月 19 日



埼玉県合唱連盟
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13
(朝日新聞さいたま総局内)
TEL 048-824-8161
FAX 048-831-5310
<http://www4.ocn.ne.jp/~scl/>

唄ううちにジーンときて鼻の奥がツーンとなるナンバーがある。学生時代以来のブルースバンドで約30年前から演奏しているスタンダード曲『オン・ザ・サニーサイド・オブ・ザ・ストリート』はそのひとつだ。

その英詞は大雑把に言えば、しんどいことはいろいろあるけど、人生明るく行こうじゃありませんか、みたいな感じなのだが、その中の「陽のあたる通りを行けば、文無しでもロックフェラーくらい大金持ちの気分になるさ」といったあたりが特にいい。ソウルバンド「ウシャコダ」を率い、埼玉にも縁のあるシャウター・藤井康一氏が当てた日本語詞「悲しいことにはさよなら 楽しいことばかり夢見て」で唄うと、さらにぐっと来る。

馬齢を重ねれば、多少の波風はある。そんなとき、まあ何とかなるさ、と思わせてくれる曲だ。日本でも古くから唄われ続け、いまなおCMソングなどでも親しまれている。唄の持つ「力」が強く働きかけるのだろう。

そんな力をまざまざと感じさせてくれる光景は身近にあった。1月末、埼玉会館で開かれたヴォーカルアンサンブルコンテストの高校の部で全グループの合唱が終わり、結果発表を待つ40分ほどの間のことだ。

出演者は客席のあちこちに高校ごとに分かれて座っているが、ある高校の生徒たちが立ち上がって唄い出し、それが終わると次の高校を指名し、その高校が別の曲を歌い出すという「唄りレー」がずっと続く。楽屋の本部席にいたら、連盟幹部の先生に「これが見もの。高校の部の恒例なんですよ」と舞台の袖に誘われ、聴き入り、そしてみつめた。

高校生はさらに盛り上がり、最後はみなが知る曲を全員合唱へ。まるで、映画『ブルース・ブラザーズ』で、教会内で静かに聖歌を唄っていた人々がジェームス・ブラウン扮する牧師を中心にいつのまにか熱狂的に唄い踊るシーンのようだ。自然にわき上がる大合唱につい鼻の奥が……。唄の力にぐいっと引き寄せられたあとには、清々しい余韻が残る。

清々しいシーン



朝日新聞さいたま総局長
松村茂雄

第 21 回 埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト



2010年1月29日(金) 高等学校の部

30日(土) 中学校の部

31日(日) ジュニア・レディー・ユース・一般の部

於：埼玉会館 大ホール



埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテストが1月29日(金) 高校58団体、30日(土) 中学36団体、31日(日) ジュニア・レディー・ユース・一般と合わせて43団体の参加をいただき、埼玉会館大ホールにて盛大に開催されました。参加団体は昨年が129団体。今年は昨年よりも8団体多い137団体に参加をいただきました。埼玉の合唱は、質、量ともに充実してきていますが、特に中学・高校は優れており、音楽的にもかなり高いレベルの演奏も数多く見られました。又、一般の団体もゆっくりではありますが活気が出てきており、今後の埼玉がますます面白くなってきました。今回は各部門の優秀団体9団体による特別演奏会も同じホールで実施されました。どの団も立派な演奏をされており、来年もさらに工夫をしてエキシビジョン的な企画でさらに盛り上げたいと思います。ただ、最近のアンサンブルコンテストは合唱の原点でもある中世、ルネッサンスの作品が取り上げられることが少なくなり、全日本合唱コンクールと同じような作品で、小編成の演奏法ではなくなっている傾向にあり、単なる人数を限定した合唱コンクールになりつつあると思います。今後の課題として合唱の原点を忘れないようにしたいと思います。また、優秀な団体もある一方、発展途上で苦しんでいる団体の存在も忘れてはいけません。どんな団体でもやりがいを持ち、楽しく合唱ができる環境を作っていくことも我々の使命であると思います。今後の埼玉県合唱連盟にご注目ください。
(常務理事 蓮沼 喜文)

埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校合唱部

部員 松本 真穂

様々な素敵な合唱にふれ 充実した1日…

私達清風高校は今回初めてこのコンテストに出させて頂きました。本番でアカペラの曲を歌うのは初めてだったのでとても緊張しました。しかし、多くの学校の演奏を聴くことができ、楽しい1日になりました。また男声合唱、女声合唱など、様々な素敵な合唱にふれることができ、よかったです。

他校の演奏を聴いて、どこの高校もとても一体感があり、自分達の練習不足を痛感しました。そして、さらに思ったことは、皆さんが大きく口を開け、たのしそうにとっても良い表情で歌っていたことでした。私達もそれを真似して練習をつんでいきたいと思いました。

沢山の事を学びとても充実した1日でした。ありがとうございました。



児童合唱団「野うさぎ」

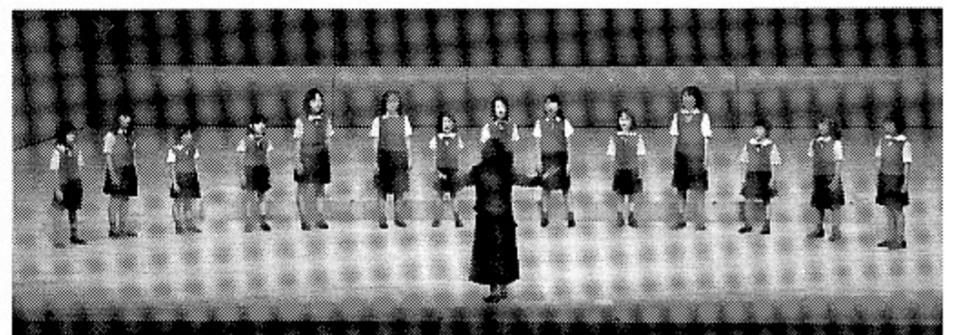
指揮者 森田 明子

合唱を通して

「音楽をすることの楽しみ」を…

現メンバーでのアンサンブルコンテスト出場は初めての「野うさぎ」です。小学1年から5年の団員が3群に分かれてチームを組み、ア・カペラという難しい分野を学んできました。

『音楽をすることの楽しみ』を“合唱を通して知ってもらえたら”との願いは、銀賞というご褒美をいただき、これからも歩み続ける励みとなりました。審査員の的確な寸評は、当団としては、小さいから“わからない”ではなく、会得していく機会を与えてくださいます。本番に向けての練習で養われていく、忍耐力・協調性・自立心…本番のステージでみせた集中力は、ひとつの結果をもたらし、演奏を終え写真撮影に向かう姿には、精一杯頑張った後の満ち足りた気配が溢れていました。



撮影：スタッフ・テス(株)

第21回 埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト審査結果

★高等学校の部 (1/29)

- 【金 賞】星野高校音楽部「Luce」(知事賞)、県立春日部女子高校音楽部(教育長賞)、星野高校音楽部「Lumiere」(総局長賞)、県立久喜高校音楽部 小梅、慶應義塾志木高校ワグネル・ソサイエティ男声合唱団、県立伊奈学園総合高校音楽部 Muse、栄東高校コーラス部、県立大宮光陵高校合唱団 TELFER、県立川越女子高校音楽部、埼玉栄高校 男声アンサンブル、県立熊谷高校音楽部、県立松伏高校合唱部 Schönsten Maid、県立久喜高校音楽部 Carina、県立大宮高校音楽部 al dente
- 【銀 賞】県立松山女子高校音楽部 エウフォニア、県立大宮光陵高校合唱団 ZIEGLER、県立坂戸西高校音楽部、埼玉栄高校 女声アンサンブル、西武学園文理高校合唱部、県立浦和第一女子高校音楽部 Freude、県立松伏高校合唱部 Iris Aura、県立浦和第一女子高校音楽部 Lächeln、県立川越南高校音楽部、県立伊奈学園総合高校音楽部「仁～Jin～」、川越高校音楽部 音men、川越高校音楽部 歌越、県立芸術総合高校合唱部、県立不動岡高校音楽部、県立浦和高校グリークラブ 合唱部の一存、県立秩父高校音楽部 Merci ちちぶ、県立寄居城北高校コーラス部
- 【銅 賞】県立浦和高校グリークラブ LOVE HURRICANE、県立蕨高校音楽部、小松原女子高校合唱部、県立小川高校音楽部、春日部共栄中学・高校合唱部、県立所沢北高校音楽部、県立大宮高校女声合唱団 パコミオス、県立熊谷西高校合唱部、花咲徳栄高校コーラス部、淑徳与野高校音楽部、県立松山女子高校音楽部 アウロラ、山村学園高校合唱部、県立坂戸高校音楽部
- 【優良賞】県立羽生第一高校コーラス部(奨励賞)、秋草学園高校音楽部、県立春日部高校音楽部「コーロ・マスキーレ」、川口市立県陽高校音楽部、県立飯能高校音楽部、県立浦和北高校音楽部、県立久喜北陽高校コーラス部、県立大宮南高校、県立松山高校音楽部、川口市立総合高校音楽部、県立白岡高校音楽部、県立岩槻高校合唱部、県立越谷東高校合唱部、県立鶴ヶ島清風高校合唱部

★中学校の部 (1/30)

- 【金 賞】春日部武里中学校 Queen(知事賞)、所沢狭山ヶ丘中学校合唱部(教育長賞)、本庄児玉中学校合唱部(総局長賞)、春日部豊春中学校 混声合唱団、蕨第一中学校音楽部、秩父第一中学校コーラス部、川口領家中学校B、熊谷富士見中学校音楽部、浦和明の星女子中学校
- 【銀 賞】春日部武里中学校 ふるさと、春日部中学校合唱部、川越第一中学校合唱団、春日部豊春中学校 女声合唱団、ふじみ野大井中学校、所沢南陵中学校 Angels、秩父第二中学校、所沢南陵中学校 Wing、さいたま宮前中学校、熊谷東中学校合唱部
- 【銅 賞】川口西中学校音楽部、栄東中学校コーラス部、熊谷大原中学校、川口領家中学校A、所沢中学校コーラス部、久喜中学校合唱部、宮代須賀中学校合唱部、加須昭和中学校音楽部、加須西中学校音楽部
- 【優良賞】小鹿野中学校音楽部(奨励賞)、埼玉栄中学校コーラス部、深谷上柴中学校音楽部、蓮田平野中学校音楽部、所沢上山口中学校合唱部、さいたま城南中学校合唱団、川口青木中学校コーラス部、羽生南中学校音楽部「Poco a poco」

★ジュニアの部 (1/31)

- 【金 賞】少年少女合唱団コーロ・トゥッティ
- 【銀 賞】植竹こども合唱団、庄和少年少女合唱団、児童合唱団「野うさぎ」

★レディーの部 (1/31)

- 【金 賞】アンサンブル ファンタジア(知事賞)、コーラル・デイジー(教育長賞)、コール・マーガレット(総局長賞)、T-Croce
- 【銀 賞】グラツィオーソ、ピアチェーレ、女声合唱団 萌、女声合唱団 きらめき
- 【銅 賞】女声合唱団 コール・秋桜、コール・マイン、MION ー美音ー、女声合唱団「彩花」
- 【優良賞】浦和ブルーコーラス(奨励賞)、ララーズ、やまとなでしこ、合唱団「さくら」

★ユースの部 (1/31)

- 【金 賞】Chor Kraut(知事賞)、合唱団 歌の葉(教育長賞)、Wings-brood(総局長賞)、Canto di Alauda
- 【銀 賞】合唱団「あべ犬東」
- 【銅 賞】THOUSAND VOICES、名前のない合唱団
- 【優良賞】混声合唱団 獅子(奨励賞)、Clear the germ、男声合唱団 風雨

★一般の部 (1/31)

- 【金 賞】Cache-Cache(知事賞)、女声アンサンブル Olive(教育長賞)、クール・ヴァン・ヴェール(総局長賞)、Wings-azure
- 【銀 賞】合唱団 amore(混声)、川越牧声会、コーロ・ピアチェーレ
- 【銅 賞】男声アンサンブル「ポパイ」、コーロ・ルリオ、結
- 【優良賞】合唱団 amore(女声)(奨励賞)、混声合唱団 Bois de Voix、ancora!

第64回関東合唱コンクール

2009年9月26日(土) 中学校部門混声・同声、大学部門A・B

27日(日) 高等学校部門A・B

於：山梨県立県民文化ホール

10月11日(日) 職場部門、一般部門A・B

於：宇都宮市民文化会館



〔銀賞〕所沢南陵中学校合唱団

部長 水沼佑奈

先生の指導に惚えたいと 部員一同がんばり…

私達南陵中学校合唱団は昨年の6月に結成されました。合唱部に有志男子を加えコンクールに出場しました。初めは「音が取れない」「表情がない」「強弱が」などいろいろな問題がありましたが「努力は裏切らない」を心に日々練習に励みました。先生の指導に惚えたいと、部員一同がんばり、夏休み前には随分と声も出るようになりました。が、県大会まであと2週間という頃、部内でインフルエンザが流行してしまい一時は棄権という話も出ましたが沢山の先生のご協力により出場することができました。コンクール当日は練習不足で不安でしたが「今日で3年生が引退にならないように」「もっとこのメンバーで歌いたい」という気持ちに変わり、金賞、関東大会出場が決まりました。大会当日はメンバー同士励まし合い今までの練習の成果を出し切って演奏後は皆笑顔でした。結果は銀賞でしたが3年生は「関東大会に出場できてとても嬉しかった」と言ってくれました。又、今年もさらに練習し心のこもったハーモニーを創りあげるよう部員一同がんばっていきます。ありがとうございました。



〔銀賞〕浦和混声合唱団

幹事 齋藤尚雄

十数年ぶりの関東大会 私たちにとても大きな収穫…

今回のコンクール課題曲の『風』と自由曲のラクールとブストの曲は、練習を重ねるごとに自分たちに合っていると感じるようになりました。特に『風』は、「ゆられゆられる」情景を徐々に表現できるようになり、いつしか私たちの愛唱歌のようになっていました。十数年ぶりの関東大会出場は、私たちにとても大きな収穫でした。緊張のステージの後、噴水の前で写真撮影となりましたが、さわやかに吹く『風』がとても印象的でした。

さて、閉会式も終わり開放感も手伝って、これは飲まずにはいられない。しかもここは宇都宮。餃子を食べずにはいられない。駅前の店で乾杯です。普段は職業も何もかも別々のメンバーですが、飲むときは練習の時以上に盛り上がり一体となります。平均年齢こそ高くなりましたが、合唱とはなんぞや、それをよく知っています。これぞ『真』の一般合唱団。私自身も浦混に入って30年経ちますが、新しい曲との出会いとそのすばらしさに驚かされることたびたびです。岸先生の指導と由良先生の伴奏でこれからも浦混で歌い続けられることに、喜びと感謝の気持ちをあらたにした関東合唱コンクールでした。最後になりましたが、お世話になりました埼玉県合唱連盟の皆様方に御礼申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

(撮影：スタッフ・テス株)

【審査結果】

中学校部門混声	【金賞】春日部市立豊春中学校混声合唱団
	【銀賞】所沢市立南陵中学校合唱団
	【銅賞】所沢市立三ヶ島中学校合唱団
中学校部門同声	【金賞】栄東中学校コーラス部、所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部、秩父市立秩父第一中学校コーラス部
	【銀賞】熊谷富士見中学校音楽部、春日部市立春日部中学校合唱部、川口市立領家中学校
高等学校部門A	【金賞】県立松伏高等学校合唱部、栄東高等学校コーラス部
高等学校部門B	【金賞】星野高等学校音楽部、県立浦和第一女子高等学校音楽部
	【銀賞】埼玉栄高等学校コーラス部、県立浦和高等学校グリークラブ、県立伊奈学園総合高等学校音楽部
	【銅賞】県立松山女子高等学校音楽部、県立大宮光陵高等学校音楽部
一般の部A	【金賞】La Mer
	【銀賞】scatola di voce、クール・ヴァン・ヴェール
一般の部B	【銀賞】浦和混声合唱団、女声合唱団 悠はるか
	【銅賞】川越牧声会
大学部門	【銅賞】埼玉大学合唱団

下線の団体は、全国大会出場

Tact vol.9

合唱に携わって……

指揮者 大岩 篤 郎



「サッチャン」等の作曲家としてお馴染みの大中 恩さんが指揮されていた合唱団の後継指揮者として30数年前に迎えて頂いたのが、私のタクト人生としてのスタートである。

当時、指揮者としての勉強を何もしていない中、とにかく現場での指導と並行して斉藤メソッド継承者高階正光氏に師事した。以来今日迄指揮法と共に人間的にも随分と鍛えられた様に思う。お陰さまでコンクール、アンサンブルコンテスト、おかあさん大会(全国大会4度指揮)等でたくさんの良い経験をさせて頂いている。

ところで合唱に携わるのは更に遡ること10数年、島根松江北高校時代(最近の活躍は目覚ましいものがあるが当時はささやか)は合唱部の部長も経験し、大学時代も声楽専攻生による授業の一環としての合唱でも幹事を務めた。更に上京して、東京放送合唱団の正式メンバーとしてNHKラジオ、テレビ、更にFM放送では毎週のように出演していた。一方民放各局でも時間との勝負であちこち飛び回って仕事をしている状況で、例えば「題名のない音楽会」(黛 敏郎 司会)にも度々出演したが、時にはテノール・ソロ(バリトンは栗本 正氏)を歌ったり、又イタリアオペラ出演では合唱メンバーとして数多く参加した。

最近特に印象に残っているのは、ルーマニア・ブカレスト国立音楽大学(日本の東京芸大に相当)に招聘されて学生の合唱団を指揮した事くらい充実した時はないと思う。ほぼ1週間から10日間毎日3~4時間指導して最後にその発表(演奏会)をして帰国というパターン。彼等は発声練習から既に歌っていて、実に良く歌う。私の方がプレーキを掛ける程だ。(日本では逆に歌わせるのに苦労している。)声質は柔らかく(イタリア風)深みがあり(ロシア風)とても至福の時だった。ここで特に印象深いのはピザンチン音楽(文化)が今も脈々と継続されている事実があり、何とか日本にも紹介したいものである。又、一昨年の還暦コンサート(超満員のホール)では私の指導している9団体をそれぞれ指揮した後、オケ版によるソロを3曲歌い、更に第九の指揮&テノール・ソロを務めたのは我ながら良くやったものだと思っても感心する。そして今年にはウイーン楽友協会大ホール(あのニューイヤークンサートホール)での指揮とソロの経験は私の人生の宝となった。音響の緻密な中にも自然なこと、スーッと引き込まれるような観客(満席)の表情の豊かさ、スタンディング拍手の長いこと長いこと、会場外での観客のVサイン等全てが一級品だった。本当に幸せに思う。

私自身プロの声楽家・オペラ歌手として2月に文化庁主催のオペラ公演で九州から沖縄まで回った。二刀流として今後もプロの指揮者としても更に良い音楽を追求して精進したく思う。現在レギュラーとしては10団体を指揮しているが、まだまだ指揮者人生としては若輩者で、そろそろ第3コーナーに入ったかな、と思っている。この後もっと大きな山の来たらんことを期待しつつ…。

第24回国民文化祭・しずおか2009

2009年11月7日(土)・8日(日)

於：静岡県アクシスカつらぎ

クリスタルハーツ代表 清水 孝 江

夢中でそして真剣に踊り歌った「越中おわら」

貴重な経験に感謝

～あたまを雲のうえにだし～ 見事な姿の富士山に迎えられ、11月7・8日、伊豆の国市で開催された“合唱の祭典”に参加いたしました。

7日(土) 伊豆観光、夜の温泉と宴会。本番を翌日に控えているとは思えない程、リラックスして過ごしました。

また、代表者6名が出演者親睦前夜祭に参加し、他県の参加団体との交流に盛り上がり、伊豆長岡温泉の芸者さんの踊りの美しさに魅了されました。私達も他県に負けじと、本番用衣裳を身に付け手話付き“翼をください”を披露したところ、会場一杯に歌声が広がりました。感動!!

8日(日) 夢中でそして真剣に踊り歌った『越中おわら』。指導者から叱咤!叱咤!! 激励されながらの長い練習期間だったのにアッ!という間に終わってしまいました。

参加した会員さんから「楽しかった」「参加して良かった」「気持ちの一つにまとまった」との声を聞くと、本当に貴重な経験をさせていただいたと感謝しております。

本番の感動を再度実現したく、5月8日(土)和光市民文化センターでのコンサートに向けて練習に励んでいます。



第 62 回

全日本合唱コンクール全国大会

2009年10月24日(土)・25日(日) 高等学校部門A・B・中学校部門(混声・同声)

於：石川県/金沢歌劇座

11月21日(土)・22日(日) 大学・職場・一般の部

於：北海道/札幌コンサートホール (Kitara)



金賞・金沢市長賞受賞の栄東中学校コーラス部



表彰式の様子

昨年の10月24日(土)から25日(日)まで金沢歌劇座において、第62回全日本合唱コンクール全国大会中学校の部及び高等学校の部が開催されました。本県からは、関東支部代表として、中学校3校、高等学校2校が栄えある全国大会に出場しました。

第1日の24日は、高等学校部門Aグループ及びBグループが行われました。本県からは、Bグループに浦和第一女子高等学校と星野高等学校が出場しました。浦和第一女子高等学校は、Bグループのトップバッター1番で演奏しました。演奏順としては、大変ハンディのあるポジションでしたが、浦和一女らしい知的でしなやかな質の高い演奏でした。星野高等学校も、出演順3番でしたが、100名という圧倒的な編成で、迫力のある堂々とした演奏を披露しました。審査結果は、浦和第一女子高等学校が銀賞、星野高等学校が銅賞をそれぞれ受賞しました。

第2日目の25日は、中学校部門同声合唱の部及び混声合唱の部が行われました。本県からは、同声合唱の部に、狭山ヶ丘中学校と栄東中学校が、混声合唱の部に豊春中学校が、それぞれ出場しました。狭山ヶ丘中学校は、出演順2番でしたが、半数が新入部員ながら、説得力のある演奏をしました。栄東中学校と豊春中学校につきましては、行程の関係で残念ながら聴くことができませんでした。審査結果は、栄東中学校が見事金賞及び金沢市長賞、豊春中学校が銀賞、狭山ヶ丘中学校が銅賞をそれぞれ受賞しました。

今回久しぶりにじっくりと全国大会を聴かせて頂きましたが、地域により合唱の表現力や技術力の差が大変あることを感じました。幸いなことに、埼玉県は、中学校・高等学校共に、毎年全国大会に必ず出場し、上位入賞を果しております。今後も、この現状に満足することなく、更に発展させていくことが必要であると考えます。最後に、これからも本県の中学校・高等学校がこのコンクールを通して、お互いに切磋琢磨され、それぞれの音楽的力量を高められることを切望いたします。

(副理事長 北川 裕)



団名

所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部
 栄東中学校コーラス部
 春日部市立豊春中学校混声合唱団
 県立浦和第一女子高等学校音楽部
 星野高等学校音楽部
 La Mer

演奏曲目

「かんかんかくれんぼ」から
 賛辞のこだま/比ぶるバラもなし
 「ラプソディ・イン・チカマツ」から
 シジュウカラの伝言(課題曲 F3 機織る星)
 「詩篇」から(課題曲 F3 機織る星)
 「南島歌遊び」から(課題曲 F4 ほたる たんじょう)

【高等学校部門B】

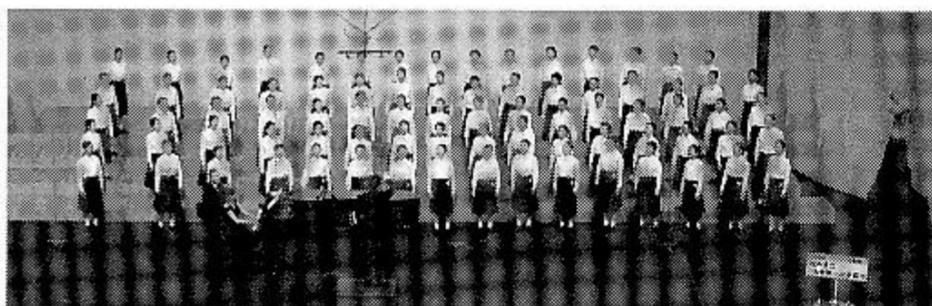
浦和第一女子高等学校音楽部

部長 榎本有華

歌う喜びを言霊にのせ…

「1番埼玉県立浦和第一女子高校音楽部…」、まだ少しざわつきの残る場内の中、私たちは石川の舞台へと歩み出しました。緊張のためか、並びがくずれてしまうというハプニングもありましたが、私たちはそれまでの練習で得たものを表現しようと全力で歌いました。結果は銀賞。これを受けて思うことは1人1人違ったと思いますが、この経験は私たちに今一度己を見直させ、また1歩成長させてくれました。今年インフルエンザの流行もあり、どの団体も例年になく大変だったことと思います。そんな中、全員で迎えることのできた全国大会は、私たちにとって本当にかげがえのないものです。

全日本合唱コンクールに出演して、私たちが得られたものは、音楽的側面は勿論のこと、みんなで歌うことのできる喜びや、県・地域を越えてつながることのできる合唱の素晴らしさです。このコンクールに出演できただけでも大変幸せなことではありますが、さらにその上の高みを目指し、より素敵な歌が歌えるよう、歌う喜びを言霊にのせ、部員一同一丸となって日々精進していきたいと思っています。



銀賞

星野高等学校音楽部

部長 佐藤 愛

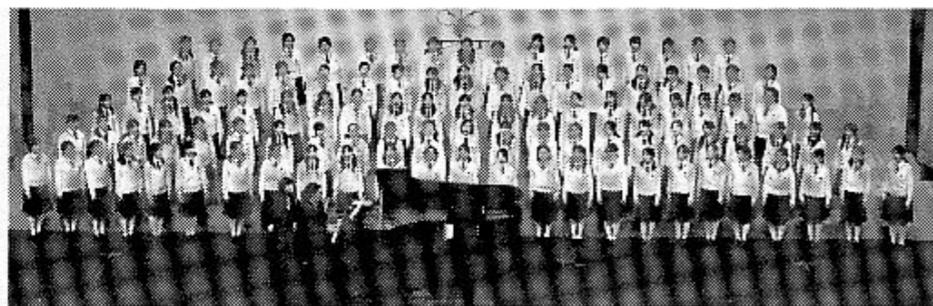
気持ちをそろえることで 一体感が…

全国大会に出演して、歌を通してまとまることの素晴らしさを実感しました。私たちの部活は、毎年100人を越える大所帯です。大人数である分、全員で呼吸や音程を合わせ、一つのものに作り上げるのはとても大変なことでした。しかし全国大会という同じ目標に向かい、気持ちをそろえることで少しずつ一体感が生まれるようになりました。時にはつらい練習や、部員同士がぶつかり合うこともありましたが、お互いに支え合い、乗り越えることができたときの感動は、とても大きなものでした。

また、今年新型インフルエンザの流行もありましたが、私たちは一人も欠けることなく舞台に立つことができました。

た。これは一人一人の健康管理はもちろん、家族を始め周りの沢山の人の協力があったからこそできたことだと思います。このことに限らず、私たちは全国大会に至るまでに多くの方に支えられ、感謝の気持ちを改めて感じました。

全国大会に出場することができ、部員それぞれがいろいろなことを学びました。その気持ちを大切に、これからも聴く人の心に響く演奏を目指し、頑張っていきたいと思っています。



銀賞

【中学校部門同声合唱の部】

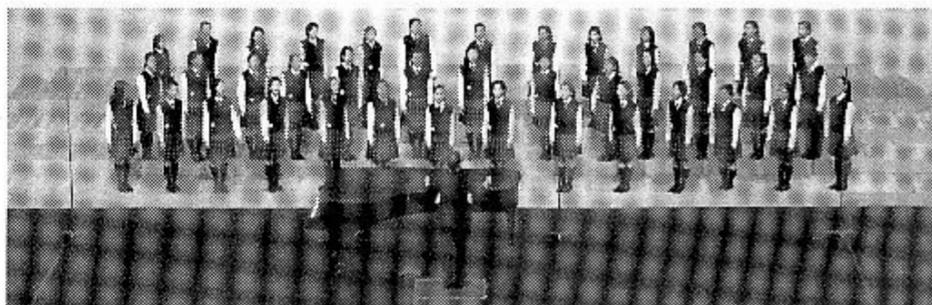
所沢市狭山ヶ丘中学校合唱部

指導者 宮本隆久

新型インフルエンザとの 闘いのなかで…

狭山ヶ丘中学校は今年創立30周年を迎えました。その記念すべき年に、昨年に引き続き全国大会に出場できた事を大変光栄に思っております。「女声合唱団として一歩ずつ確実に前進していこう」を合言葉に日々練習に励んできました。声の硬さや音程の不安定感など課題も多かった今年度でしたが、夢の舞台に立てた事は大きな自信となりました。今年は何と言っても新型インフルエンザとの闘いでした。夏休み練習から万全を期して臨んだものの、とうとう関東大会終了直後に（実は後泊のホテルで…）発症し、アッと言う間に部内に蔓延してしまいました。その後は学級、学年、学校閉鎖を繰り返し、金沢へ出発前日に全員が揃うという悪条件の中での参加となりました。それでも3年生11名が音楽稽古はもちろんのこと、日頃の学校生活に至るまで強いリーダーシップを発揮し、大会までの足掛りを創ってくれました。

新メンバーでの活動が12月から本格的に始まりました。今年の課題克服に重点を置き、新しい目標に向かって頑張っていこうと思っています。最後に、今まで応援して下さいった本校の校長先生始め先生方、保護者、地域の方々、埼玉県合唱連盟の皆様に深く感謝致します。



銅賞

栄東中学校コーラス部

部長 西浦 希歩

積み上げた練習を信じ 仲間を信じて…

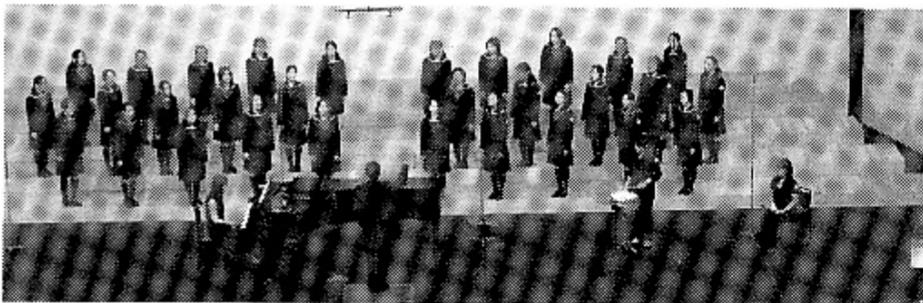
関東支部代表として、全国大会への出場が決定した喜びの瞬間は、いまだに忘れられません。昨年の涙をバネにして、誠心誠意重ねた努力が報われた瞬間でした。

ただただ先輩達の後に続いて頑張っていた昨年、一昨年とは違い、今年は自分たちが最上級生として後輩の範となって導いていく立場となって、戸惑いやプレッシャーに悩み、苦しんだ事も多くありました。そういった一つ一つのハードルを部員全員で力を合わせて乗り越え、少しずつ成長を重ねながら臨んだ今回のコンクールを通し、私たちが得たものはとても大きく、また、かけがえのないものになりました。素晴らしいホールと満員の聴衆の中、私たちの音楽を全国の皆さんに届けられたことは、部員全員の誇りです。

今年選んだ作品と出会ってから半年間、和音の響きを磨き、バランスを整え、英語の発音に頭を抱えながら、少しずつ作品と一体になれた気がします。私たち3年生にとって中学校生活最後の演奏を迎えるにあたり、自分たちが積み上げた練習を信じ、仲間を信じて、心を一つにステージに上がりました。金賞をいただいた事はもちろんですが、何よりもメンバー全員が笑顔で舞台を降りられたことがとても嬉しかったです。

最後になりましたが、いつも隣で支えてくれた両親、校長先生をはじめとする諸先生方、また、応援していただいた全ての皆様に、心から感謝の気持ちを申し上げます。

ありがとうございました。



金 賞

【中学校部門混声合唱の部】

春日部市立豊春中学校混声合唱団

部長 藤田 みなみ

全身全霊で

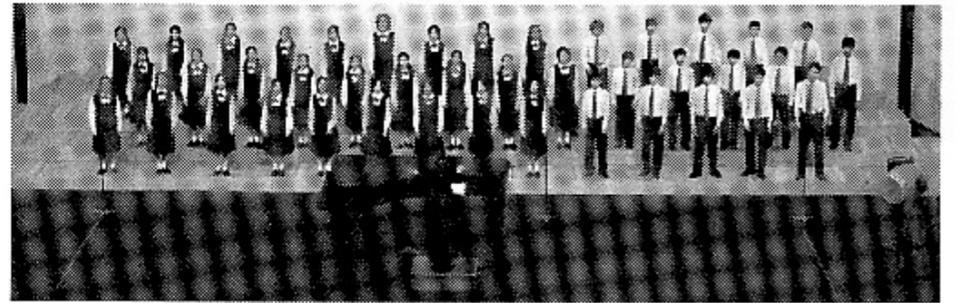
近松門左衛門の世界を表現…

私たち豊春中学校混声合唱団は「音楽は心」をモットーに、3年連続で全国大会出場を果たすことができました。

今回全国大会のステージで歌った『ラブソディー・イン・チカマツ〜貳の段〜』は、江戸時代に人形浄瑠璃を大成させた近松門左衛門のさまざまな作品の詞が使われている楽曲です。作品中の人物や近松門左衛門の芸術家としての生きざまを通し、現代にいる私たちはどう生き抜くかという思いでステージに立ちました。また、中学生として初の演奏、生と死

の世界を、伝統に根ざしながらも次世代のあたらしい響きを秘めた、生命力と緊張感みなぎる濃密な音楽空間を中学生がどこまで表現できるのかと問われ、音楽表現の表出に「全身全霊」で歌いました。そして、今年目標「“Jump”音響相和〜いざ極みへ!!〜」を胸に精いっぱい近松門左衛門の世界『浄瑠璃万華鏡世界』を表現することができたと思います。

全国大会のステージで、このメンバーで絆を感じながら歌えたこと、奇跡的に集まった大切な仲間と出会い、歌うことができたことは、私たちの心の中にいつまでも残ることと思います。



銀 賞

撮影：スタッフ・テス(株)

【一般部門A】

La Mer

代表 荒井 女留歩

演奏を終えた安堵感

達成感で涙が自然に…

2009年11月21日、秋も終わりに近づいていたこの日、初めての全国大会の舞台に立つ時が刻々と迫っていました。ホテルから会場のホールまでの夕暮れの道。札幌の地は11月にして0℃を下回っていましたが、暗闇の中に温かい光を放っていた札幌Kitaraホールの外観を目にしたとき、最高の舞台に立つことができる楽しみで、寒さも忘れるくらい興奮していたことをよく覚えています。そして舞台の上に立った時、これまでのコンクールとは違い、客席との距離がとても近く感じられ、それだけで幸せな気持ちになりました。静寂な美の表現が求められる課題曲の『ほたるたんじょう』、福島雄次郎先生作曲で悲恋物語における主人公の女性の心情を表現する『嗚咽』、対照的にユーモラスなリズムと歌詞で、勢いあるかけ声で終わる『野茶坊』を歌い切り、拍手の音が重ね重ね耳に入ってきた時、演奏を終えた安堵感やら達成感で、涙が自然とこぼれ落ちました。今大会を期に、団員同士、そして団員と先生とが、より深い絆で結ばれたと信じております。更なる感動を求め、私達La Merはこれからも合唱ができる喜びを噛みしめながら、成長していきたいと思っています。



銀 賞

撮影：(株)大阪フォトサービス

35周年**草加混声合唱団**

記念コンサート実行委員長 染谷 義仁

**良い合唱を作りたいという
気持ちは、生涯変わらず…**

私たちの団は音楽都市宣言を掲げた草加市に産声を上げて35年になります。

昨年11月に草加混声合唱団35周年記念コンサートを開催することができました。これまで歌い続けてこられたのは、数え切れない方々に支えられてきたおかげだと、団員一同心から感謝をしています。

35年たつと団員も年ごとに高齢化が進みます。我が団は定年がないため、若い方が入団されない限りどんどん平均年齢は上がっていきます。年齢に比べて音は年ごとに下がってしましますが、良い合唱を作りたいという気持ちは、生涯変わらずに持ち続けています。

草加混声合唱団は歌うことだけでなく、団員相互の親睦を図るため様々なイベントがあります。春にはお花見を始め、夏の花火、秋には高尾山ハイキングを兼ねてポジョレーヌーボーを飲む会、冬はスキー合宿等、春夏秋冬機会があれば逃しません。このようなイベントには団員以外も大歓迎、私を始めリクレーションを楽しみに入団している人も数多くいます。

コンサート「うーん」、コンクール「とんでもない」でも歌は好き、こんな私たちですが、病院の待合室、障がい者福祉施設でのボランティアコンサート、草加駅ミニコンサート等には積極的に参加し、音楽都市宣言にふさわしい団でありたいと活動しています。

今回私が35周年記念コンサートの実行委員長を任せられ、多々至らぬ点があり、おいでくださったお客様には、満足のいかないところがあったことを、この場を借りてお礼とお詫びいたします。

今回のコンサートをワンステップとして、より良い40周年記念コンサートを目指し、私たちはすでに走り始めました。

今まで同様、草加混声合唱団を暖かく見守っていただければこんな幸せなことはありません。

＊＊＊それぞれの周年記念＊＊＊

**20周年****コーロ・プリランテ**
団員一同**歌を通して一層強い絆
プリランテの名にふさわしく輝いていけるよう…**

昨年の10月10日、念願の20周年記念コンサートを開催することができました。プログラムは四部構成とし、最初に今まで音楽祭等で発表した曲、日本の歌、組曲「愛の詩集」(松下 耕作曲)、最後はドラム奏者を客演に迎え、会場に来て下さった大勢の方々と一体となって、とても楽しいポピュラーソングのステージとなりました。

大きな行事を終えた今、達成感と安堵の気持ちで一杯です。また、20年という歳月を縁あって集った私達ですが、歌を通して一層強い絆を結ぶことができました。繰り返す一つの曲を創り上げる喜びは、何ものにも換え難く、新たなメロディと感動的な詩に出会うたびに大きくなり、私達の心を幸せにしてくれました。そして身のまわりに起こるどんな困難にも耐えられる大きな「力」となって、今も私達を支えてくれています。

この大きな節目を経て、これからも若さ溢れる先生の下、情感豊かなピアノの調べと共に、新たな目標に向かって楽しく歌っていかれたらと思います。そとてプリランテの名にふさわしく、声に、歌に、ステージに、また一人ひとりの生きる姿勢としても、輝いていけることを心より願っています。

第33回 全日本おかあさんコーラス関東支部埼玉県大会

(第35回埼玉県おかあさんコーラス大会)

2010年3月7日(日)・14日(日) 於：和光市民文化センター

すっかり春めいてきた3月7・14日の両日にわたり、和光市文化振興公社の共催をいただいて、全日本おかあさんコーラス関東支部埼玉県大会が華やかに開催されました。埼玉県各地から総勢87団体の参加を得て、盛会裏のうちに終了することができました。どの団体も個性あふれる演奏を披露され、日頃主婦として、母として活躍しておられる中から合唱仲間と共にコツコツ練習を積み上げてこられた成果が、この和光市民文化センターホールで花開いたようでした。

講師の斉藤昌子先生、村田さち子先生（2日間共）、大中恩先生には長時間に亘った演奏にもかかわらず、どの団にも心温まるきめ細かなご高評をいただきました。今後の活動に生かし、より発展していくためのたくさんの知恵を講評で伝授していただき、それぞれがまた新た

に飛躍していく足掛かりとなりました。

今回初の試みは、「さいたまさちあり」合同演奏でした。日頃はあまりない各団の交流を目的として、両日共、第1、2部合同で参加を募ったところ、なんと243名もの方々にお集まりいただき、感動の演奏となりました。色とりどりのドレスが鮮やかにステージに映え、心ひとつになって情熱がほとばしり出たひと時でした。

二日間を通して、終始、温かい雰囲気の中でつつがなく大会が行われたのは、参加して下さった皆様の大会に対する一途な思い、みんなで成功させようと思う協調の心があってのことでした。皆様の多大なるご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

(常務理事 小島 嘉子)



まなびピア 埼玉2009

第21回 全国生涯学習フェスティバル

彩の国 まなびと夢を 未来に向けて

平成21年10月30日(金)～11月3日(火・祝)

主会場：さいたまスーパーアリーナ・けやきひろば



埼玉県のマスコット「コバトン」

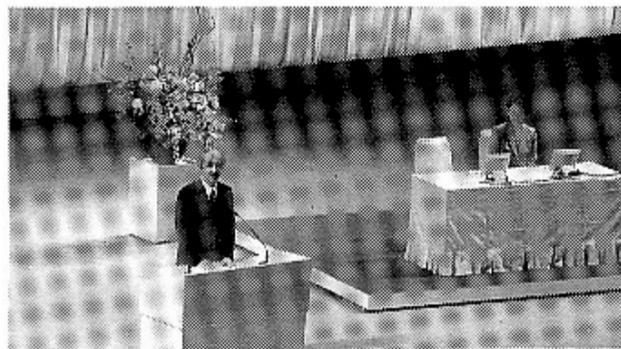
全国生涯学習フェスティバルとは

あらゆる世代の人たちが、学ぶ楽しさや大切さを感じ、学びへの参加を体験する全国イベントです。平成元年から始まり、各県持ち回りで毎年行われております。

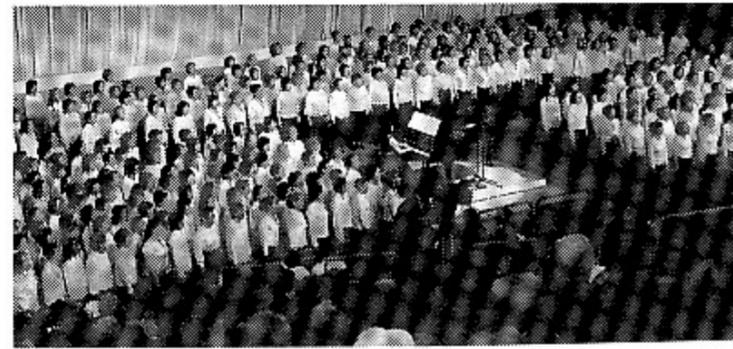
昨年の10月30日、さいたまスーパーアリーナにおいて、「まなびピア2009」の開会式が催されました。県内各地の市町村から、小鹿野子ども歌舞伎、秩父祭屋台囃子など、趣向を凝らしたアトラクションが紹介されました。秋篠宮殿下、妃殿下ご臨席のもと、合唱王国埼玉から、下総院一メドレーと埼玉県の自然のすばらしさを歌った「さいたまさちあり」を、女声コーラス850名で演奏しました。



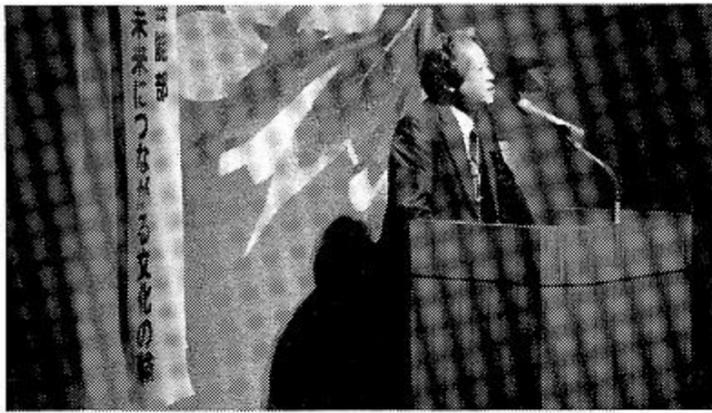
指揮者 宮 寺 勇



秋篠宮殿下、妃殿下をお迎えして

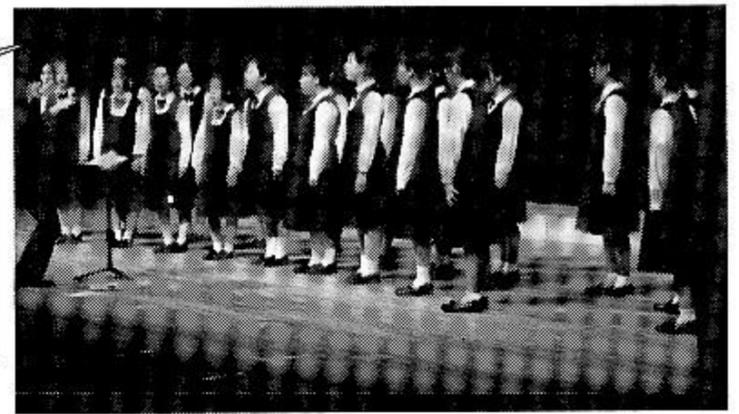


県内各地から集まった約850名の合唱仲間と一緒に

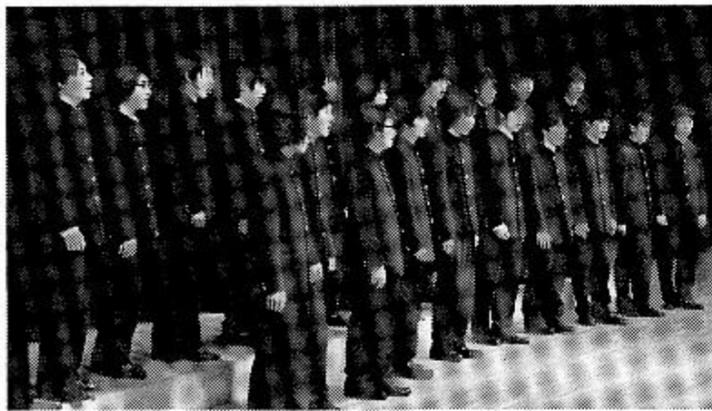


総合司会をする宮寺理事長

「『青色廃園』よりⅡ宮殿」
宮殿の様子がかんてくる
ような演奏になったかな？
実は私たち吹奏楽もやって
ます…



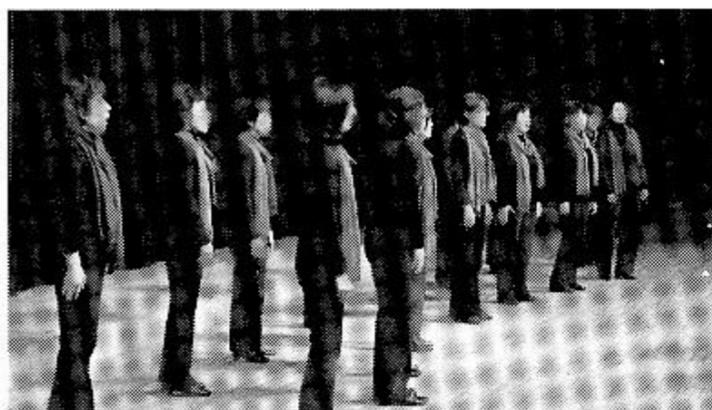
春日部市立武里中学校 Queen



慶應義塾志木高等学校 ワグネルソサイエティ男声合唱団

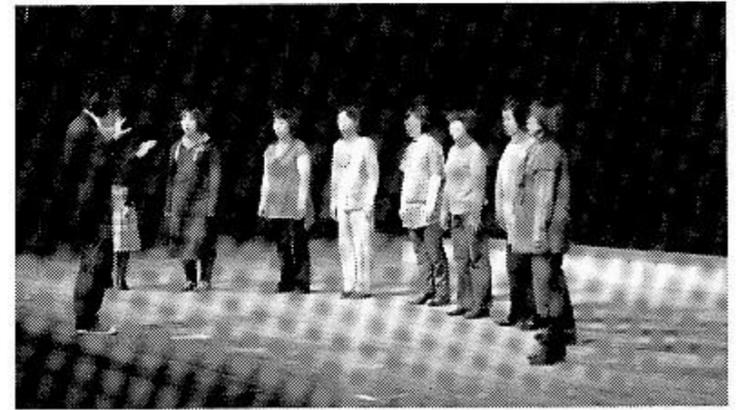


少年少女合唱団 コーロ・トゥッティ



アンサンブル ファンタジア

第34回埼玉県文化振興会議
(第21回埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト・優秀団体演奏)
二〇一〇年二月六日(土)
於 埼玉会館



Cache-cache



Chor Kraut

「『波浮の港』の主題による
幻想曲」。私たちの合唱
団のオリジナル。日本の心
をお伝えできれば……

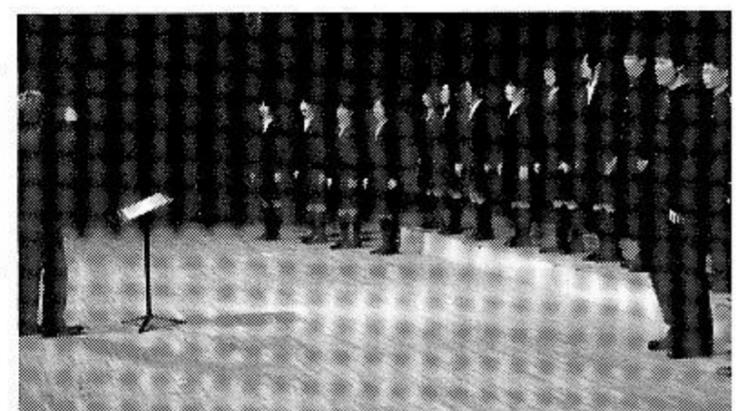


春日部市立豊春中学校混声合唱団



星野高校音楽部 Luce

ハンガリーの音楽「タウン
ガ」、「風がうたう」、「ダナ
ダナ」なぜかなつかしさを
感じ……



大宮高校音楽部 al dente

昨年11月17日、県合唱連盟初めての顧問、参与会議を開催いたしました。これまでは就任していただいているものの、顧問・参与としてのお立場で接することが殆どありませんでした。今年度は、合唱祭において講師をお願いする機会が持てましたので、そこから一歩進め、一堂に会し合唱連盟について語り合う機会を設けようと開かれたものです。

当日は、田尻元理事長、小高前理事長、稲田・鎌田元理事、大岩・大竹前副理事長、の顧問・参与と、宮寺理事長、新祖・北川・浅井の各副理事長、小野瀬事務局長が参加いたしました。初代理事長故尾花

“
明日の連盟を語り合う”
—顧問・参与会議を開催—

勇先生のお話や、連盟の事務局が浦和一女高にあり、総会は同校音楽室をお借りしていた頃の話、歴代の朝日新聞さいたま総局長（以前は、浦和支局長という名称だった）のご協力により現在の事務局があることなど、懐かしいお話や合唱連盟の変遷なども伺うことが出来ました。一方、現在の合唱連盟の運営状況等の質問が出たり、今後の展望についてご意見も頂戴し、和やかなうちにあっという間に時間が過ぎていきました。今後も先輩方のアドバイスを活かしながら、連盟のより良い運営に努めていけたらと思う有意義な時間でした。（常任理事 浅井 一郎）

コーラス最前線

関東おとうさんコーラス大会にご参加を！

関東おとうさんコーラス大会は一昨年から各県持ち回りとなり、今年で3年目を迎えます。以前は1年おきに本県で開催され、しかも第1部の演奏会は埼玉県連が担当するということもあって、多いときには本県から10数団体が参加したこともありました。しかし、各県持ち回りとなる中で、昨年からは本県独自に「彩の国男声コーラスフェスティバル」をスタートさせたこともあって、昨年の千葉大会はなかなか参加団体の手が上がらず、かろうじて3団体がエントリーをするという結果でした。事前に県段階で3団体に絞るというアナウンスをしたことも参加申し込みが少なかった原因と考えられます。

今年、8月7日（土）横浜港大さん橋ホールにおいて下記のとおり開催されますが、事前に調整せず、できるかぎり希望する合唱団には参加していただこうと考えていますので、是非とも積極的なご参加をお願いします。

記

- 1 参加資格 おとうさんコーラス団体（混声合唱の男声部の参加も可）…加盟の有無は問わない
- 2 演奏時間 曲間を含み5分以内
- 3 演奏曲目 自由（無伴奏に限る）
- 4 出演人員 原則として8名以上
- 5 参加料 【1部】加盟団体 2,000円（未加盟団体 10,000円）
1名につき1,000円（指揮者は除く）
【2部】男性3,000円 女性2,000円（指揮者も同額）

※参加を希望する合唱団は県連事務局までお問い合わせください。

4月23日（金）までにお申し込みください。

SAITAMA コーラスワークショップ 2010 のご案内

- ★日 時 平成22年 5月 9日 (日) 10:20~16:00
- ★会 場 さいたま市 プラザ・ウエスト
ホール (定員403名) 多目的ホール (定員200名)
- ★講 師 掛江みどり先生、連盟役員

	多 目 的 ホ ー ル	ホ ー ル
10:30~12:30	講座A 掛江みどり先生 「ジュニアコーラス ワークショップ」 「風のとおりみち」の合同合唱の練習 を中心にしながら進めます。	講座B 全日本合唱コンクール課題曲を歌おう 宮寺 勇理事長 浅井一郎副理事長 北川 裕副理事長 が指導いたします。
12:30~13:30	昼 食 休 憩	
13:30~15:30	講座C 中学生実技講習会 印東公民理事 NHK全国学校音楽コンクール課題曲 を使いながら、みなさんで勉強しまし ょう。	「Viva! ジュニアコーラス2010」 講師：掛江みどり先生 各団の発表 合同合唱 「風のとおりみち」より ①かぞえうた ②栗の実



これからの行事予定

平成22年

- | | | |
|------------|--|---------------|
| 4月29日(木・祝) | 平成22年度埼玉県合唱連盟総会
及び第55回埼玉県合唱祭打ち合わせ会 | さいたま市民会館うらわ |
| 5月9日(日) | SAITAMAコーラスワークショップ2010
(第25回埼玉県合唱講習会)
講師 掛江みどり 他 | さいたま市/プラザウエスト |
| 6月5日(土) | 第55回埼玉県合唱祭 | 埼 玉 会 館 |
| 6日(日) | " | " |
| 12日(土) | " | さいたま市文化センター |
| 13日(日) | " | " |
| 20日(日) | " | 熊谷文化創造館 |
| 7月17日(土) | 第53回埼玉県合唱コンクール打ち合わせ会 | さいたま市民会館うらわ |
| 8月21日(土) | 第53回埼玉県合唱コンクール【中学校(同声)・彩の国の部】
審査員 長木誠司、竹内秀男、磯山 雅、堀 俊輔、古橋富士雄 | さいたま市文化センター |
| 8月22日(日) | " 【小学校・中学校(混声)・職場・一般の部】
審査員 長木誠司、竹内秀男、磯山 雅、堀 俊輔、古橋富士雄 | " |
| 8月29日(日) | " 【高等学校・大学の部】
審査員 竹内秀男、磯山 雅、堀 俊輔、古橋富士雄、三林輝夫 | " |
| 10月2日(土) | 彩の国男声コーラスフェスティバル2010 | 秩父ミュージックパーク |
| 12月18日(土) | 第22回埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト打ち合わせ会 | さいたま市民会館うらわ |

♪ 私たちの場所

Stage

ドマーニ

代表 田中 邦子

1983年に草加市教育委員会主催「女声コーラス教室」に松浦ゆかり先生を迎えて開講。1985年に「ドマーニ」として誕生以来、26年目になります。県合唱祭・おかあさんコーラス県大会・関東大会・全国大会（ひまわり賞）・アンサンブルコンテスト（県知事賞）・全日本コンクール関東大会（銀賞）・コンサート・松浦先生傘下の合唱団と海外演奏（5回）、その他数々のステージを踏んできました。自分たちだけが楽しむのではなく、聴き手にも喜びをと指導して下さいる先生ですが、習ったことが出来るとは限らず「不器用で、振り向くと忘れる」と言われながらも根気よく指導して下さいる先生に感謝し、歌う喜びを感じ、先生の音楽が大好きな仲間と仲良く明るく、毎週木曜日・草加市内で練習しています。

西武学園文理高校合唱部

代表 生倉 みゆき

西武学園文理高等学校合唱部は、学校方針である文武両道を目指しつつ、「心の響きあい」をモットーとして日々楽しく活動に励んでいます。正式にクラブとなってから5年が経ち、昨年は「合唱祭」をはじめとして、アンサンブルコンテストや夏のコンクールにも出場し、賞も頂くことができました。例年女子部員が圧倒的に多い我が合唱部が、今年度は男女比が等しく、混声合唱ならではの、より深みのあるハーモニーを目指して頑張っていきたいと思っています。

来たる6月13日(日)には、狭山市市民会館中ホールで、1年間の活動の集大成となる「西武学園文理高等学校合唱部第5回定期演奏会」を行います。コンクールなどで歌った曲からミュージカルまで、多彩なステージをおおくりいたしますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場下さい。

植竹子ども合唱団

小学6年生一同

私たちは、今年の7月で30年目に入ります。毎年、市合唱祭、県合唱祭と大人の合唱団の中で歌わせていただいています。練習場所は、植竹公民館と時々大砂土公民館で歌っています。今は高校生3人、中学生2人、小学生15人、幼稚園2人ですが、お姉さん達は部活が忙しいとあって、休んだり、受験が近いと休んだりで6年生は大変です。それでも、大きな行事には全員で出演します。一昨年は、武道館で歌いました。「久石譲 in 武道館」です。昨年は、東京でオペラ「カルメン」に出演しました。今年は5年生以上で、久しぶりにボーカルコンテストに出ました。お母さん達が感激してくれましたので、来年はちびっこもみんな出ようと思っています。先生は困った困ったとっています。人数は少ないですが、楽しい団です。やさしい歌もむずかしい歌もいろいろ歌っています。これからもよろしくお願ひします。

秩父で第九を歌う会

会長 目崎 泰弘

秩父で第九を歌う会は1997年の創立以来地元で毎年のように第九を歌って参りました。2005年からは市民合唱団として、合唱組曲なども取り入れ、より深い合唱、音楽への取り組みを行っております。現在、通常団員は35名ほど、私達にとって大事なイベント第九の時には80名ほどの人員が集まります。市民合唱団になってからは各種の音楽祭に積極的に参加させていただき活発に活動をしております。練習は週1回金曜日、高校の音楽室をお借りして夜間7時半より行っております。第九から発生した合唱団の傾向として、我が団も年齢構成が幅広いことが挙げられ、17歳の高校生から75歳の大ベテランまで声を合わせ、気持ちを合わせ仲良く練習に励んでおります。

編	集
後	記

今年度も終わり、また新しい春を迎えようとしています。春は、新しい出会いに胸がはずみます。どのような人と出会えるのか、どのような新しい曲と出会えるのか。新年度、合唱祭での様々な出会いを期待して…
(北添 郁朗)

1969年埼玉県草加市で創業～2009年 創業40周年 新築住宅累計4万戸

2010年のポラスは新 PROJECT 始動

「新しい時代、新しい価値、新しい街づくり」

住まい価値創造企業

POLUS

ポラスグループ

www.polus.co.jp

ポラス

検索

ポラス(株) 越谷市南越谷1-21-2 TEL.048-989-9119
宅建業国土交通大臣(10)第2401号 建設業国土交通大臣許可(特-18)第8156号